

あとがき

この「あとがき」を9月下旬に書いておりますが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の第7波が収束しつつあります。本号がお手元に届く頃にはさらに感染者数が減少していることを心から願っております。

さて、「今月のピックアップ」は、技術講座「微生物検査において病原体の取り扱いに必要なバイオセーフティ」としました。コロナ禍において、SARS-CoV-2の抗原検査や遺伝子検査では、微生物検査に携わる検査技師だけでなく、さまざまな検査分野の検査技師が日勤や夜勤等で従事していることと思います。バイオセーフティでは、病原体の安全取扱い技術や管理規則の設定といったソフト面と、施設や設備基準のようなハード面の、両面からの対策が重要です。本記事では、国立感染症研究所によるBSLや感染症法による設備基準との互いの関連性を含めて、核酸増幅検査や抗酸菌検査も行うことを想定した微生物検査室の一例も提示していただいています。さらには、検査室内のゾーニング、個人防護具(PPE)の使用、基本操作など押さえておくべき知識や技術のポイントが端的にわかりやすく解説されています。ぜひ、本稿をお読みいただき、バイオセーフティの原理・原則を十分に理解した上で、自施設の検査室に即応したバイオハザード対策の構築と教育や訓練に役立てていただければと思います。

その他、「病気のはなし」「技術講座」「トピックス」「フォーカス」「疾患と検査値の推移」「ワンポイントアドバイス」「臨床検査のピットフォール」「ラボクイズ」「読者質問箱」など日常検査にすぐに役立つ論文ばかりですので、ぜひ、最後までお目通しいただければと思います。

(大楠清文)

第50巻12号(2022年12月号)予告

病気のはなし

・HIV感染症/AIDS 塚田訓久

技術講座

・持続皮下グルコース検査(CGM) 小野佳一
・発色酵素基質培地の基本 中山麻美
・造血器腫瘍の染色体・FISH検査 井戸田篤
・臨床検査を終了した既存試料(残余検体)の研究、業務、教育のための使用について 横崎典哉

トピックス

・薬剤耐性グラム陰性菌感染症治療ガイドライン 西村 翔
・尿検体への質量分析の応用 森田賢史

フォーカス

・輸血のための検査マニュアル改訂のポイント 森山昌彦
・炎症性腸疾患(IBD)のバイオマーカー 岡田光貴

疾患と検査値の推移

・急性肺炎 廣田衛久

臨床検査のピットフォール

・造血幹細胞移植検査 澤田朝寛

読者質問箱

・心筋梗塞で、PCIなどで再灌流した場合でも、心筋は壊死しているため異常Q波が残るのでしょうか? 野池亮太

臨床医からの質問に答える

・嫌気培養を依頼するときの注意点を教えてください。 三澤慶樹

ワンポイントアドバイス

・コロナ禍における呼吸機能検査 情野千文

編集室より

大学院時代の研究室の同級生が徐々に執筆者の立場となり、弊社の書籍も執筆するようになりました。彼とは教授のモウキ教えを受けながら3年間苦楽を共にしたので、書籍に印字された彼の名前を初めて見た時には感慨深いものがありました。いつか彼や教授と一緒に仕事をしたいものです。(N)

編集委員(五十音順)

矢富 裕(編集主幹)・大楠清文・平石直己・八畝恒芳・横田浩充

編集協力委員(五十音順)

大川龍之介・大沼健一郎・岡田光貴・沖野久美子・菊地良介・木下朋幸・木村圭吾・草刈宏有・河野浩善・国分寺晃・佐々木雅一・清水康平・藤崎 純・松田和之・丸川活司・柳田絵美衣・脇田 満

検査と技術

2022年11月1日発行(毎月1日発行)
定価:1,870円(本体1,700円+税10%)

2022 年間購読料(2冊の増大号を含む12冊、税込、配送料弊社負担)

冊子版 27,940円 電子版/個人 27,940円
冊子+電子版/個人 33,440円

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊
〒113-8719
東京都文京区本郷1-28-23

本誌編集室 TEL(03)3817-5713
FAX(03)3815-7802
E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp
URL www.igaku-shoin.co.jp/journal/543

別刷取扱 販売・PR部 (03)3817-5650
印刷 (株)アイワード (011)241-9341
広告取扱 日本医学広告社 (03)5226-2791

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2022. Printed in Japan.

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088, FAX03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

「検査と技術」は、株式会社医学書院の登録商標です。

(担当 小山・長原・三由・田村・能藤)